

平成 30 年度

元気な森林づくり活動支援事業

事例集

令和元年 7 月

茨 城 県

目次

(平成 30 年度事業)

1 森づくり

いばらき森林クラブ（常陸太田市）	3
特定非営利活動法人 エコ・グリーンいばらき（水戸市）	4
常磐きらめ樹森の守り人（笠間市）	5
神栖市美化運動推進連絡協議会（神栖市）	6
公益社団法人 隊友会 石岡支部（石岡市）	7
つくばフォレストクラブ（つくば市）	8
つくば森林クラブ（つくば市）	9
青木ヤマザクラの会（桜川市）	10
薬師樹林を再生する会（水戸市）（森林づくり+木づかい）	11

2 木づかい

茨城県建築士会 龍ヶ崎支部（龍ヶ崎市）	13
おおいがわ事務所プロボノ研究会（龍ヶ崎市）	14
特定非営利活動法人 やみその森（つくば市）	15
一般社団法人 子育てネットワーク ままもり（守谷市）	16

3 森林環境学習・森林づくり

常陽森のボランティア（茨城町）	18
特定非営利活動法人 里山再生と食の安全を考える会（つくば市）	19
特定非営利活動法人 こが里山を守る会（古河市）	20
結城里山の会（結城市）	21

4 森林環境学習・木づかい

一般社団法人 茨城経営クラブ（水戸市）	23
もりとわ（ひたちなか市）	24
森睦会（常総市）	25

1. 森林づくり

団体名及び代表者名	いばらき森林クラブ 代表 三村 玄
事業期間	平成30年6月17日から平成31年3月10日まで
主な事業実施場所	常陸太田市新宿町字山吹 ヒノキ林
事業の参加者数	延べ76名（1回あたり最大12名，最小4名）
事業による活動実績	対象のヒノキ林は間伐期を迎え，樹冠が塞がった状態であった。そこで，この活動により間伐，下刈り，小径木や枯損木の撤去などの森林づくりを実施した。
事業の成果	事業実施後は，林内が明るくなり，健全なヒノキ林として豊かな植生が期待できる。また，活動場所は西山公園の駐車場に隣接しており，来訪者と話す機会も多く，整備された林内を見通すことができるようになったことから，森林に対する県民意識の向上に寄与することができた。さらに，密集した林内での効率の良い間伐処理やかかり木処理，ロープ掛けなどを体験することにより，会員の技術の向上を図ることができた。



作業前の準備体操で体をほぐす



篠や低木が茂った場所は，まず下刈りを行う



かかり木をローププラーで引き倒す



整備後の林内の様子

団体名及び代表者名	特定非営利活動法人 エコ・グリーンいばらき 理事長 大場 国行
事業期間	平成30年4月1日から平成31年3月20日
主な事業実施場所	水戸市栗崎町大字原山
事業の参加者数	延べ356名（1回あたり最大73名，最小6名）
事業による活動実績	里地・里山・平地林を子供たちに引き渡すため，放置された平地林を整備した。森林整備作業は継続的な管理が必要であるため，隣接する団体に呼びかけ組織の連携を図り，13団体により管理作業を進めた。
事業の成果	地域の町内会や子供会等の団体と連携することにより，幅広い年代の方が森林整備に取り組み，里地・里山・平地林の維持につなげることができた。また，巣箱づくり等環境学習会を実施することにより，豊かな感性や命の大切さなど，自然に対する意識の醸成に努めた。
	
間伐木の搬出	下草刈り作業
	
間伐木の粉砕作業	チップ敷き均し作業
	
巣箱づくり	巣箱のとりつけ

団体名及び代表者名	きらめ樹森の守り人	
事業期間	平成30年4月1日から平成31年3月25日	
主な事業実施場所	笠間市本戸カモスの森	
事業の参加者数	延べ700名（1回あたり最大38名，最小2名）	
事業による活動実績	森林整備、間伐活動 45回 お話会、プレゼンなどの広報、環境教育活動 31回 イベント開催、出店 3回 参加延べ人数 718人	
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・延べ、700名以上の人数で活動を行うことができ、多くの方々、特に子供たちに向けて、間伐の必要性、森の木を使う事、森と海の循環などを理解してもらい、実体験を通してしっかりと心と体に身に付けられた。 ・森の中での体験活動は、日常とは別世界の空間であり、子どもも大人も充実した体験を通して、地球環境への貢献意識を実感することができた。 	
		
間伐対象木の幹の計測体験	間伐作業の杉の木の皮むき体験	間伐する木の皮をむいた姿
		
情報誌に掲載されました	学校林のある小学校での体験指導の様子（鉦田市）	
		
森の中や各地で説明会を開催しています		

団体名及び代表者名	神栖市美化運動推進連絡協議会 会長 才賀 秀樹
事業期間	平成30年10月1日から平成31年3月19日
主な事業実施場所	神栖市矢田部海岸沿い
事業の参加者数	延べ500名
事業による活動実績	平成31年3月3日に「白砂青松再生プロジェクト」を開催し、500人も市民が集まり、2,100本の松の苗木を植樹した。 また育てた松苗や松枯れした丸太の中にある松枯れの原因となるマツノザイセンチュウを運ぶカミキリムシの幼虫の観察を行った。
事業の成果	当日は、あいにくの雨の中での開催となったが、多くの市民が参加し、「大変だったけど将来大きな松林となってほしい」、「最近災害が多いので大きく育ててこの町を守ってほしい」という意見が聞こえるなど、白砂松林再生に対する市民意識の醸成がなされてきたと考えられる。



植樹作業①



植樹作業②



植樹作業③



幼虫と苗木の観察①



幼虫と苗木の観察②



活動参加者の集合写真

団体名及び代表者名	公益社団法人 隊友会 石岡支部 支部長 佐藤 芳美
事業期間	平成30年9月10日から平成30年10月31日
主な事業実施場所	石岡市染谷地内 龍神の森公園
事業の参加者数	延べ33名（1回あたり最大15名，最小1名）
事業による活動実績	<p>車道を覆う雑木を伐採，処理することにより，来訪者の視界を広げ，安心感を与えることが出来た。</p> <p>道路ののり面等に散在する倒木を処理し，下草刈をすることにより，来訪者に森林浴の爽快感を実感させることができた。</p>
事業の成果	<p>作業後，来訪者から「公園内がきれいになり，気持ちが良い」との感想をたくさんいただいた。</p> <p>来訪する子どもたちに整備された森林を提示することにより，森林維持の重要性を伝えることができた。</p>
	
作業前の状況	作業後の状況
	
作業のようす	チェーンソーによる倒木伐採
	
看板設置	作業中のようす

団体名及び代表者名	つくばフォレストクラブ 代表 水野 正城
事業期間	平成30年5月3日から平成31年3月7日
主な事業実施場所	つくば市六斗 823 番
事業の参加者数	延べ 61 名（1 回あたり最大 15 名，最小 5 名）（※1）
事業による活動実績（※2）	<p>篠竹や雑木に占拠され，倒木や枯損木が多く，荒れた暗い森林であったおぐろくの森を除伐や刈払を行い見通しの良い明るい森になった。</p> <p>伐採した倒木等は大型チップパーの導入で木材チップとして周りの散策路に敷設され，安心して散策できる森林となった。</p>
事業の成果（※2）	<p>おぐろくの森は広く今年度整備した森林はその一部に過ぎないが，森林整備の効果は大きく，人々が安心して散策のできる森林となった。</p> <p>森林の来訪者からは「森林の見通しが良くなり，気持ちよく散策できるようになった」等の感想をもらった。</p>
	
整備前の森林	作業のようす①
	
作業のようす②	作業のようす③
	
整備後の森林	整備後の散策路

団体名及び代表者名	つくば森林クラブ 代表 青木 正
事業期間	平成30年 8 月 1 日から平成31年 3 月15日
主な事業実施場所	つくば市筑波字東山 146-1 ほか
事業の参加者数	延べ 36 名（1 回あたり最大 9 名，最小 6 名）（※1）
事業による活動実績（※2）	<p>観光地付近の整備の行き届いていない森林の整備を行ったことで，森林整備に対する効果が認識されるようになり，多くの人に評価された。</p> <p>森林の整備を行う上で，景観など森林の良さを認識できるような森林整備を行った。</p>
事業の成果（※2）	<p>整備したおかげで，森林内の見通しが良くなりイノシシの出没が少なくなり，安全上の効果が見られた。</p> <p>整備ができなかった場所を当補助金を受け，整備したことで，本会が地区内で評価されるようになった。</p>
	
作業中のようす①	作業中のようす②
	
集合写真	整備後のようす

団体名及び代表者名	青木ヤマザクラの会 共同代表 廣澤光一郎 大関隆司
事業期間	平成30年4月1日から平成31年3月3日
主な事業実施場所	茨城県桜川市青木 1382 番地
事業の参加者数	延べ111名（1回あたり最大33名，最小5名）
事業による活動実績	竹密生地伐採後の下刈り及び伐竹を3回，100本を超えるヤマザクラとカエデ等広葉樹の植栽，獣害から植栽した苗木を守るワイヤーメッシュ柵の設置，散策道の整備を実施した。
事業の成果	下刈り及び伐竹，植栽の作業とともに，散策道を整備したことで，徒歩等による散策が可能となり，地域住民の憩いの場を創出することができた。 また，近隣地区の住民に対し，森林整備や植樹活動等を実施している旨を回覧板等でPRしたほか，活動の様子を地域広報誌へ掲載したことにより，本事業の周知を図ることができた。
	
ヤマザクラ根の下刈り	下刈り①
	
ワイヤーメッシュ柵の設置	散策道整備

団体名及び代表者名	薬師樹林を再生する会 会長 小田倉 康家
事業期間	平成30年4月1日から平成31年3月8日
主な事業実施場所	水戸市上国井町辻ノ内
事業の参加者数	延べ 200 名（1回あたり最大25名，最小10名）
事業による活動実績	<p>枯木跡の除去は重機（パワーショベル）を使い，樹林内を整備したあとにサクラを移植し，「薬師寺花まつり」の準備ができた。</p> <p>また，樹林内は1年間を通して延べ200名の会員で除草し，環境整備に努めた。</p> <p>さらに，ベンチ・テーブルを2組作成し，休憩室の木質化を推し進めた。</p>
事業の成果	<p>新たに移植したサクラはまだ開花していないが，以前からあるサクラの下で「薬師寺花まつり」が20年ぶりに復活できたことが最大の成果である。</p> <p>また，地元住民や那珂川堤防散策者のためのベンチ・テーブルや休憩室の木質化を図り，木と親しんだ憩いの場を提供できた。</p>
	
ヤマザクラ と ナラ の植樹	20年ぶりに復活した薬師寺花まつり
	
ベンチ・テーブル作成作業	休憩室木質化とベンチ・テーブル完成

2. 木づかい

団体名及び代表者名	茨城県建築士会龍ヶ崎支部 支部長 家富 秀一
事業期間	平成30年7月30日から平成31年2月25日
主な事業実施場所	龍ヶ崎商店街大通り「にぎわい広場」
事業の参加者数	延べ300名（1回あたり最大300名）
事業による活動実績	龍ヶ崎商店街大通り「にぎわい広場」で一般参加者は延べ300人に対し、建築士会員10名で建築士会による「子どもから大人までマルチ椅子作り体験」を行った。準備していたマルチ椅子100組全てを体験してもらうことができ、無事に無事故で木と触れ合ってもらえることが出来た。
事業の成果	今回のイベントによって親子のコミュニケーションをとることが出来た。茨城県産材の木材を使用することによる森林育成の大切さを伝えることが出来た。参加者からはこの活動を長く続けてほしいとの声があったため、今後も継続して行っていく。
	
ミーティングのようす	事前準備のようす
	
椅子作り体験①	椅子作り体験②
	
椅子作り体験③	椅子作り体験④

団体名及び代表者名	おおいがわ事務所 プロボノ研究会 大井川 裕代
事業期間	平成30年4月1日から平成31年3月22日
主な事業実施場所	龍ヶ崎市佐貫町589-1A-507ほか
事業の参加者数	延べ250名（1回あたり最大150名，最小6名）
事業による活動実績	竹から物を作る作業及びそれを日常生活で使うことを通して参加者に森林環境への関心を持っていただくことを目的として、竹を使ったアロマの容器等作成講座や竹に関するセミナーの開催及び龍ヶ崎市で開催された環境フェアなどに出展を行った。
事業の成果	竹に関する講座やセミナーの参加者からは「竹に関する知識を深められた」や「竹の良い面はもちろん，森林環境を悪化させる悪い面についても知ることができた」等のコメントがあり，竹への興味関心を呼び起こすには一定の効果，成果が上げられた。



セミナーのようす



竹木工のようす①



竹木工のようす②



竹木工のようす③

団体名及び代表者名	特定非営利活動法人やみぞの森
事業期間	平成30年7月15日から平成31年2月15日
主な事業実施場所	つくば市「島名交流センター」ホール
事業の参加者数	延べ106名
事業による活動実績	森づくり,木づかいによる環境教育の重要性と社会的意義がますます高まっている現在,地域材による木づかいを通して,環境意識の啓蒙と創造性を培う親子木工教室をつくば市を中心として,小学3年生~小学6年生とその保護者を対象に実施した。
事業の成果	事業後に実施したアンケートを分析した結果,親子で協力して行う創作活動,本格的な木工体験への評価が高かった。「木の感触を味わいながら子どもと釘打ちができて楽しかった」等の感想があり,次回参加希望は89%に上り,次回継続を期待する声が多かった。



親子木工体験活動①



親子木工体験活動②



親子木工体験活動③



親子木工体験活動④

団体名及び代表者名	一般社団法人 子育てネットワークままもり 代表理事 宮下 嘉代子
事業期間	平成30年8月1日から平成31年2月28日
主な事業実施場所	守谷市立沢198-63ほか
事業の参加者数	延べ73名（1回あたり最大18名，最小4名）
事業による活動実績	電動ノコギリや電動サンダー等を実際を使って道具の使い方を学びながら，作業台や作業椅子等を製作した。 農林事務所職員とともに，小学校での木育体験にサポートスタッフとして参加をした。
事業の成果	事業を通し，林業に携わる人や木工家具を作る人等に講師として指導をいただき大変有意義な講座となった。 講座開催中には木のおもちゃ広場の開催や小学校での木工体験もあり，実践機会にも恵まれ，多くの人への木育指導が行えた。



椅子作り講座



作業台作り講座



間伐



木育体験



木のおもちゃ作り①



木のおもちゃ作り②

3. 森林環境学習・森林づくり

団体名及び代表者名	常陽森のボランティア 代表 日熊 幸男
事業期間	平成30年4月1日から平成31年3月15日
主な事業実施場所	茨城町若宮地区体験学習の森
事業の参加者数	延べ228名（1回あたり最大42名，最小3名） ※事前準備作業の人数含む
事業による活動実績	過去に本事業等を活用し整備したフィールドにおいて，近隣住民や養護施設の児童などを対象とした森林学習イベントを開催した。平成30年4月にタケノコ掘り，竹工作，8月にサマーキャンプで竹工作（水鉄砲・竹の器づくり）等，12月にミニ門松作りを開催した。 また，イベント開催前には事前準備と当日の安全確保のため森林整備を実施した。
事業の成果	森林学習イベントの参加者は，森林の中での木，竹工作体験や森の恵みを味わうことで，森林の持つ働きを体で感じる事ができた。また，人と人とのつながりの大切さを再認識し，交流を深めることもできた。



タケノコ掘り（H30年4月）



竹林での竹伐採体験（H30年8月）



切り出した竹での器作り（H30年8月）



竹の水鉄砲づくり（H30年8月）



竹の樋での流しそうめん（H30年8月）



ミニ門松づくり（H30年12月）

団体名及び代表者名	特定非営利活動法人 里山再生と食の安全を考える会 理事長 飯泉 孝司
事業期間	平成30年9月22日から平成31年2月16日
主な事業実施場所	つくば市中野地内
事業の参加者数	延べ223名（1回あたり最大132名，最小8名）
事業による活動実績	都市近郊の里山の景観を保全するため，毎月第3土曜日に定例活動日として，里山保全活動を実施するとともに，グリーンツーリズム事業の一環として，次世代を担う子供たちが，親子で楽しめる「きのこづくり体験教室」を実施した。
事業の成果	里山保全事業については，6回の活動を実施し，下草刈りや枯損木の除去等を行うことにより，里山の景観を維持することができた。 きのこづくり体験教室を開催し，植菌体験，収穫体験等を行うことにより，森林を大切にする心の醸成が図られた。



きのこづくり体験のようす



収穫体験のようす①



収穫体験のようす②



整備後の森林

団体名及び代表者名	特定非営利活動法人 こが里山を守る会 代表理事 蒔田睦郎
事業期間	平成30年10月1日から平成31年2月22日
主な事業実施場所	古河市稲宮地区
事業の参加者数	延べ396名（1回あたり最大99名，最小9名）
事業による活動実績	<p>会員による里山整備だけでなく，地元小中学校の児童生徒の参加による里山整備（倒木立枯れ木調査，苗木植栽）も実施した。また，地元幼稚園・小中学校に対し，自然環境体験学習として，里山出前講座（里山の主な樹種や立枯れ木の発生原因に関する講座），里山の恵み体験（ドングリ拾い，椎茸の植菌，生き物調査等）も実施した。</p>
事業の成果	<p>地元の身近な里山を自然環境学習の場として整備し，児童・生徒参加の体験学習を毎年実施することで，学校も積極的に里山体験学習カリキュラムを組むようになってきている。</p>
	
苗木植栽	里山体験（ドングリ拾い）
	
倒木・立枯れ木調査	里山の冬の生き物調査
	
苗木植栽	椎茸の植菌

団体名及び代表者名	結城里山の会 会長 海老澤功
事業期間	平成30年9月23日から平成31年3月22日
主な事業実施場所	結城市田間地内 結城市健康の森
事業の参加者数	延べ980名（1回あたり最大600名，最小6名）
事業による活動実績	整備活動（刈払い，枝払い，倒木の除去等）を9回，里山発見レンジャー（森の清掃，薪割り，植樹，椎茸の植菌，森遊び等）を3回，地元小学校での授業支援（森遊びや森の授業，6年生による植樹）を2回行った。
事業の成果	子供達を対象とした体験活動の場として里山を整備し，森での活動を実施することで，子供達の生活力向上，里山の意義や大切さへの理解を深めることができた。 また，活動を通じ，市民や他のボランティア団体の里山利用も増加している。



森林整備①



森林整備②



森林整備③



森の授業









クヌギとナラの植樹



健康の森フェスティバル支援

4. 森林環境学習・木づかい

団体名及び代表者名	一般社団法人 茨城経営クラブ 代表理事 友末 忠徳	
事業期間	平成30年6月1日から平成31年3月16日	
主な事業実施場所	常磐神社内 常磐神社別館 茨城県農村研修館	
事業の参加者数	延べ 120名 (1回あたり最大85名, 最小16名)	
事業による活動実績	<p>箸づくり体験や緑育・食育等を通して、材料となる八溝材・県産漆を知り、木製品の良さや地元の産地・産業・環境への関心につなげる。</p> <p>手作りの箸を通して、日本と台湾のボーイスカウトのコミュニケーションをとるとともに、海外の方にも八溝材や県産漆の良さを知ってもらおう。</p> <p>箸の正しい知識を学ぶことで、食の大切さや楽しさを知ってもらい、木材の良さを実感する。</p>	
事業の成果	<p>同じ箸を使用する食文化の国でありながらも、台湾の箸の大きさや重さなどの違いについて通訳を介して伝える等、日本のボーイスカウトメンバーとの有意義な会話を楽しんでいた。</p> <p>箸・丸太（木材）・日本の食文化に限定した作業の流れの中で、それぞれがお互いの国の事を（特に台湾の方々には日本での学びに熱心に参加されたようだった）理解する良い機会になったと考える。</p>	
		
お箸づくりの様子	日本の食文化の講義（食育）	丸太スライスにお絵かきをしたところ
		
職人が箸に漆を塗る様子を見学	お箸が完成したところ	参加者の集合写真

団体名及び代表者名	もりとわ 代表 増田真紀子
事業期間	平成30年4月1日から平成31年3月22日
主な事業実施場所	森（ひたちなか市中根） ふぁみりこらぼ（ひたちなか市石川町）ほか
事業の参加者数	延べ470名（1回あたり最大約100名，最小6名）
事業による活動実績	1）森のお話会8回 2）木工体験会2回 3）木工ワークショップ5回 4）皮むき体験会3回
事業の成果	森のお話会を開催することにより，人工林の間伐の必要性を広く伝えることができ，聞いた方が森に目を向け，森での皮むき体験会につながった。また，親子木工教室やまちなかマルシェでの間伐材を利用した木工ワークショップにより，たくさんの方に木に触れる経験をしていただけた。



茨城大学で森のお話会



自然遊びサークル『森っこ』でお話会



ホーリーホックススタジアムイベントで木工ワークショップ



夏休み小学生皮むき体験会

団体名及び代表者名	森睦会 代表 二方代二郎
事業期間	平成30年10月10日から平成31年3月18日
主な事業実施場所	常総市 学校法人大楽寺学園認定こども園みつかいどう
事業の参加者数	延べ360名（1回あたり最大110名，最小70名）
事業による活動実績	<p>木のおもちゃ作りを常総市「学校法人大楽寺学園認定こども園みつかいどう」対し実施した。</p> <p>県産木材に親んでもらい木の良さや温かさを実感してもらうことで、木材の良さをPRした。</p>
事業の成果	<p>木のおもちゃ作りを，親子370人が体験したことにより，県産木材の良さや温かさを実感してもらうことができた。</p> <p>木のおもちゃ作りを親子で作業することにより親子の絆を深めることができた。</p>
	
木工教室 ①	木工教室 ②
	
木工教室 ③	木工教室 ④